

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 28 日(火) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	久佐まちづくりセンター	参加人数	10 人
出席議員	岡本正友、三浦大紀、田畑敬二	補助員	笹田卓
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ 当地は公共交通と市生活路線バス、市のりあいタクシーの 3 路線が運行している。 ・ 公共交通にしる、市生活路線バスでも待ち時間が永くて大変である。 ・ 免許返納が進むことによって新たな課題がふえるが新たなあいのりタクシーに期待をする。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・ 市の方で政策掲げて、事業者従う感じになっているが、環境はそれだけではないのでは。例えば、食べ物を輸入しているが莫大なコストがかかっている。意識改革が必要。 ・ 食品ロスは大問題。ゴミの減量に心がけているが、捨てないことを徹底するのができること。 ・ 断熱住宅、太陽光パネルの設置はお金がかかるので、できることから。それが食を通じた取り組み。分別の意識をしっかりすることが大事。 ・ JA で回収をやっていたが、9 月でもうやめる。回収する仕組みを市で作ってほしい。 ・ 地球に優しい、体に優しい。それが環境づくりだ。スーパーでもロス削減啓発をやるなどしてはどうか。 ・ 不法投棄がどれくらいあるか？		

	【産業建設】地域産業の問題点と課題について ・耕作放棄地が大変に多い。 ・防護柵緊急対策事業で地域別の箇所数及び優先順位を示してほしい。 →以下、回答 浜田 34 箇所 緊急性高 14 箇所 中 19 箇所 低 1 箇所 金城 39 箇所 緊急性高 4 箇所 中 35 箇所 低 0 箇所 旭 49 箇所 緊急性高 11 箇所 中 33 箇所 低 5 箇所 弥栄 26 箇所 緊急性高 6 箇所 中 20 箇所 低 0 箇所 三隅 16 箇所 緊急性高 1 箇所 中 6 箇所 低 9 箇所 整備スケジュール 令和 6 年度 36 箇所 5,200 万円 令和 7 年度 63 箇所 4,000 万円 令和 8 年度 65 箇所 3,800 万円 計 1 億 3,000 万円は、ふるさと基金で対応する
自由意見	【総務文教委員会】 ・市からの高齢者へ対する補助金が減っている。社会参画に対して医療費の削減がつながる。 →高齢者クラブの助成金は守らなければいけない。委員会は違うが、しっかり訴えていきたい。(田畑) ・久佐まちづくりセンターの空調が整備されていないので活動しにくい。 ・久佐には、伝統芸能として、山陰松竹座がある。皆さんに周知するにあたって支援をお願いしたい(大正時代から続く)。 ・多くの市職員が辞めているが理由は？ ・市長の出張が多すぎる。何でもかんでも行くべきなのか？ ・郷土資料館の建設はどうなったのか？

	【福祉環境委員会】 ・訪問入浴の予算が小さい。当面でなく、継続できるようにお願いしたい。 →確かに綱渡りのような状況。事業者のサービスではあるが、利用者の方々が安心して暮らせるようなサービス提供環境を考えていく必要がある。(三浦) ・医師確保対策事業の予算額が少ないのではないかと。最近でも病理学の先生がいなくなった。 →他事業において取り組んでいることもある。医師の獲得、医師の育成について意見交換をしながら委員会で調査研究している。引き続き取り組む。(三浦) ・高齢者クラブの助成金 400 万円から 350 万円に減額されている。高齢化率が今後も高くなる中、より増額して活性化を。
	【産業建設委員会】 ・道の駅へ視察へ行かれているが、どういうことを考えられたか。ゆうひパーク、三隅ゆうひパークの経営状況はどうか？ミツザクラにそんなに資金投入するべきではないのでは。 →三隅は一時期閉鎖したが現在の指定管理者になって利益出ている。浜田の方は、今後検討していくことになっている。酒蔵も視察した。視察先は状態が良かったので使うことができていた。三桜の状態は良くない。(田畑) ・まんてんが閉店するというメッセージは口頭だった。経緯など説明があっても良いのでは。

令和 6 年 5 月 30 日 報告者 三浦大紀